

“夢世紀” に夢をのせて ~ 14日(金)教育課程研究協議会 ~

3年生の学級の「屋代の時間（総合的な学習の時間）」の学習を更埴地区の先生方にご覧いただき、研究会を行いました。

千曲市で作られている小麦粉「夢世紀」のよさをもっと多くの地域の方々に知ってもらうために、応援活動を考えようという授業でした。



夢世紀：長野県農事試験場で新しく開発された小麦粉の新品種。長野県ほぼ全域で収穫されていた「夢しらね」は主たる用途はパン用粉であり、「夢世紀」はうどん用の粉として開発された。千曲市を中心に作られており、甘い風味、ソフトで上品な味わいのある、モチモチ感の強い小麦粉（中力粉）。農家は農協と契約して栽培、長野市の製粉会社で小麦粉として加工され「ブランド小麦粉」として製麺工場や製菓業者に販売されている。手打ちうどんに最適である。

北信地域では、二毛作の小麦の生産が盛んであったことから、日常におやき、うすやき、うどん等を食べる独特の粉食文化があります。こうした背景を受け、地域の小麦粉“夢世紀”を教材化し、地域の文化のすばらしさを知り、それを受け継いでいく子どもを育てたいと願ったのです。

3年生の授業の様子から

「ポスター」「テレビ・ラジオCM」「チラシ・お便り」「試食」で応援しよう！



「ユメセイキのよさ」や「生産者の方の思い」を伝える方法を同じ考えをもつ友達と話し合い、工夫した自分なりの応援の仕方を考えよう。



● **ふるさとを思う心を育てる**

はじめに、学習カードを開いて、「夢世紀」のよさを「食べてみる」「生産者やお店からお話を聞く」等で実感したことを全体でふりかえりました。「こんなおいしい小麦粉があった」という発見から、地域の特産品に感動した子どもたち。夢麺の小松さん、農家の小林さんの「夢世紀のよさを多くの人に知ってほしい」という願いを共有し、「応援をしたい」という思いを強くもつことができました。

また、自分の思いを、「〇〇さんにつなげて…」 「〇〇さんと似ていて」 「〇〇さんと少し違っていて…」と、友達の名前が出てくる発言でつなげていく、温かな話し合いがされていました。

● 自分の考えをもち、課題に取り組む

「夢世紀」よさを知ってもらうために、自分なりの応援方法を考えてきた子どもたちは、似た応援方法を考えている友達とチームを作り、話し合いを



- 1 考えてきたことを発表する。
- 2 考えのよいところを出し合う。
- 3 さらによくする工夫を話し合う。

しました。

話をすることが苦手な友達が、発表できたことに対し、にっこりとほほえみ、小さく拍手をする様子もありました。また、

一つの方法に決めるための話し合いではなく、自分自身の課題を解決するための話し合いのむずかしさも経験することができました。



● 友のよさに気づき、自分の考えを練り上げる

チームで話し合うことで、自分では気づくことのできなかつた工夫を知りました。そこで、それを採り入れながら、よりよい応援方法を考え、実行に移す意欲を高めることができました。

きょういろいろなしつもんを出し合って、勉強ができてよかった。



知ってビックリ！ 食べてかんげき！！

地元特産「ユメセイキ」

夢世紀を使ったおいしい「うどん」「パスタ」「おやき」「焼菓子」…。ぜひお召し上がりください！

* 3年梅組の子どもたちの願いを受けて掲載した「応援広告」です。



PTA 作業にご協力ありがとうございました

16日(日)各学年の計画に従い、学校教育環境の整備を進めていただきました。見違えるようになった学校で、一生懸命勉強して、**笑顔いっぱいの屋代小**にしていきたいと思ひます。役員の方々を中心に、児童のために大変な作業をしていただいたことに、心より感謝いたします。

